
関市立関商工高等学校

校長 武田 理

学校住所 岐阜県関市桐ヶ丘一丁目1番地 電話 0575-22-4221

1 会議の名称 第3回関商工高等学校運営協議会（書面開催）

2 会議の構成 委員長 水谷 透 中部学院大学 入試広報課課長
副委員長 山田美穂子 関印刷有限会社 取締役社長
委員 加藤 洋子 国際ソロプチミスト関 広報委員長
北瀬 美幸 関美濃保護区保護司会 保護司
波多野篤志 青協建設株式会社 取締役副社長
古田あゆみ 関市立関商工高等学校 P T A会長
田中 雄貴 関青年会議所 理事長

（敬称略）

学校側 武田 理 校長
市川 浩通 副校長
中村 進 事務長
服部 幸広 教頭（全日制商業）
藤原 竹志 教頭（全日制工業）
金本 淳 教頭（定時制）
棚橋 英一 教務主任（全日制商業）
野口 晃弘 教務主任（全日制工業）
石原 桂 教務主任（定時制）
井川 茂雄 生徒指導主事（全日制工業）
林 秀記 進路指導主事（全日制商業）
竹内 友紀 商業科主任（全日制）
牛丸 憲一 工業科主任（全日制）

3 会議の目的 学校に在籍する生徒の保護者及び地域住民の学校運営への参画及び連携の強化を推進することにより、学校、保護者及び地域住民が相互に信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組む。

4 会議の開催 令和4年1月27日（木） 書面開催

5 会議の概要

（1）学校運営（学校教育の方針と重点）

（2）工業科専門部の説明

（3）教務部 令和3年度の自己評価について

・令和3年11月6日実施 関商工オープンスクール（S. O. S）アンケート集計結果

・令和3年12月4日実施 関商工オープンスクール（S. O. S）アンケート集計結果

（4）進路指導部 令和3年度自己評価について

・進路トピックス（商業科）

・進路トピックス（工業科）

（5）生徒指導部 令和3年度の自己評価について

- (6) 定時制課程 令和3年度の自己評価について
- (7) 令和4年度 「関商工高等学校スクール・ポリシー（案）」について

6 会議の概要

(1) 全日制課程についての評価及び意見・提言

① 教務部についての評価及び意見・提言

- ・「6目標達成のための具体的な取組」の(2)で挙げられた「ICT機器、スタディサプリ及びR-timeによる学習の定着」については、評価Aということで、コロナ禍における学習支援が十分にできていると感じました。「12来年度に向けての改善方策案」のところで、「ICT機器やスタディサプリについて、実践事例を共有することにより、更なる利活用を図る。」とまとめていらっしゃるのので、今後益々学習に活かされることを期待します。
- ・「11成果・課題」で心配されている「集まれる機会が減少したことで、意思統一がなされていないと感じた。」という点は、なるほどと思いました。対面での議論ができなくとも意思統一する方法を(なかなか難しいことですが)お考えいただくと嬉しいです。
- ・学校アンケートの結果から、「意欲的に取り組んでいる」や「説明が丁寧で分かりやすい」と回答した以外の20%~30%の生徒さんへの対応について、個々の状況を十分把握するとともに理解度が上がるよう、個々に適したご指導をお願いいたします。
- ・新学習指導要領に変わりつつあるが、地域やその時代の流に沿うような教育をして欲しい。
- ・生徒や保護者向けのアンケートで70%以上の高い評価を受けている授業の安心感と満足度を知り学校運営の更なる向上を期待します。
- ・2度行われたオープンスクールは、素晴らしい成果があったように感じました。何より生徒達の明朗な挨拶は、訪れた人を温かく迎えてくれると思います。
- ・商業科・工業科共に、学習の成果が郊外でも発揮され評価を得ていることは素晴らしい。机上の学習では解らない現場での体験は、学習や人間形成に幅と奥行を持たせます。基本をしっかりとしたうえで、いろいろな体験を学習してほしい。
- ・HPについて、関商工と他校とどう違うのかというのが分かりません。一部の部活が活躍している学校というイメージです。関商工だからこそできる教育・進学・就職やその関商工を支える行動指針にあるような教師集団の紹介など、深くまで潜ってしまうような工夫をされるといいと思います。また、eスポーツ部を設置するといいと思います。
- ・生徒一人一台のタブレットの貸し出しによって、オンライン授業やアンケートができたと思います。社会に出てからも役に立つのではないのでしょうか。今後も、就職・進学を検討する場合にも活用して頂きたい。
- ・コロナ禍において、限られた中で出来る事を積極的に挑戦することを教えてくださりありがたい。来年度は、地域の方とも交流して関商工の生徒が活躍する姿を楽しみにしている。

② 生徒指導部についての評価及び意見・提言

- ・「11成果・課題」で「ツブロックなど、校則の見直しを行った初めての年となったが、大きなトラブルもなく、運用することができた。」とまとめられています。先生方が問題を抱える生徒と粘り強く話を続けられたからこそその結果が得られたのだと思いました。
- ・いじめについては、アンケート結果が良好のようで良いと思います。いじめはこの学校にもあると思いますが、今後とも、「いじめを許さない関商工」が続くことを願っています。
- ・アンケート結果にある「学校がいじめに対して厳しく対応しているか」という項目については、ポイントが低いことは気になりますが、「いじめ」に関してはデリケートな問題が多いことから、具体例を示すなどの手段で保護者の理解を得ることはなかなか難しいと考えます。引き続き、生徒・保護者に対して根気強く親切丁寧に寄り添うことで信頼関係を築き、解決に向けてご尽力いただければありがたいと存じます。

- ・交通事故・暴力・犯罪などに対する対応の仕方などを、専門機関と連携を取りながら実践指導をしてほしい。
- ・近頃世間では思いがけない事件が起きています。生徒の心のケアはとても難しい問題だと考えますが、常に悩みを相談できる窓口を広く開けておく工夫がなされることを要望します。
- ・個々の人格と思いやりの心を大切にしてほしい。現在、いじめは無いようですが、双方の心に寄り添う姿勢が大切かと思えます。また、交通安全については更なる指導と生徒の自覚を望みます。
- ・いじめ問題については、件数の問題よりもこれが生じてしまった際にどう迅速に対応し、悪化を防止、そして事実関係の究明を行うかが大切かと思えます。その対応に向けての組織図のようなものがあると保護者の理解や安心・協力につながるのではないかと思います。

③ 生徒指導部についての評価及び意見・提言

- ・私も説明させていただき立場で関わらせていただきましたが、オンラインを活用した進学相談会は、なかなか難しいところがあります。高校によっても、参加している生徒の様子は様々ですが、関商工はしっかり活用ができてい学校であると感じています。
- ・就職者の多くが地元企業に行かれることは大変ありがたいことです。今後ともご指導よろしくお願ひします。
- ・商業科・工業科の進路トピックスを拝見し、多くの生徒さんが就職内定や進学先の合格を決められ大変うれしく思っています。市立の高校だけあって、地元企業への内定者も多く、また、商業・工業の専門性を生かした就職先への内定や進学先への合格者も多く素晴らしいと思えます。なかでも、看護・医療系学科への進学者が16名もあることにとっても驚きました。コロナ禍で医療関係者の多くの方々が大変なご苦勞をされている状況を理解した上での決断に敬服いたします。
- ・今までの様に地域の方々との交流を通し地元の良さを伝えてほしい。
- ・県外の企業に就職した生徒や、県外の大学などに進学しても将来は地元に戻って来てくれるような経験をさせてほしい。
- ・近年では専門的な知識を身につけるため、進学を選ぶ生徒が増えていることを知りました。しかし、大半は就職を希望していると思えます。地域に貢献できる人材となるべく、地域企業のPR動画やオンラインを活用して情報発信を行ってほしいと思えます。
- ・コロナ禍で今迄の直接対面ではなくオンラインで生徒が自分自身を表現することは大変だと思う。より自分らしさをアピールできる能力をしっかりと身につけ、学んだこと、自分の良さを高めていけるよう本人の努力と指導を望みます。
- ・昨年、コロナ禍のため私の会社の面接をオンラインで行いました。その際、相手側のオンライン面接の不慣れさに驚きました。今後は、そのような学習も必要かもしれませんね。

(2) 定時制課程についての評価及び意見・提言

- ・中学時代に様々な問題を抱えて入学してくる生徒が少ないと思えます。
機械科の「3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等」に書かれている「4年間で高校を卒業させたい」という表現が心に響きます。
- ・座学ではない実習科目は生徒も興味をもって取り組むと思えます。その実習科目で、安全教育を重んじていくことは、生徒の育成にも大いに役立つと考えます。今後ともご指導よろしくお願ひします。
- ・コロナ禍の影響もあるのか、遅刻や欠席が多くなっているようですが、こうした遅刻や欠席が「いじめ」につながらないようにご指導をお願いしたいと存じます。
- ・コロナ禍で、本来の学習にも多くの制約が出ていることは十分承知しておりますが、定時制課程の学習指導上可能であれば、生徒全員で取り組めるようなもの(例えば、物作り、ボランティアなど)があると、コミュニケーション、人づくりにつながるのではないかと考えます。
- ・先生方の多大な苦勞はあると思えますが、生徒一人一人の個性を生かせる場があることを教えて

ほしい。

- ・ 関市に定時制の高校が存在していることを知っている人、入学を希望している人がどれくらいいるのでしょうか。生活が豊かになって働きながら勉学に励もうとする人間が育っているかと疑問に思うことがある。そんな中で、真剣に定時制の学校運営に取り組んでおられる関商工高校にエールを送りたい気持ちでいっぱいです。
- ・ 昼間の勤務後又夜間の学習は大変だと感心する思いです。ただ卒業資格は重要ですが、その大変な中で現在から今後に向けての自分磨きをし、楽しさを感じられるように教育指導を望みます。
- ・ 様々なバックグラウンドを持つ定時制の生徒が未来に希望を持つためには、自己肯定感、成功体験を向上させることが必要と思う。達成感が得られる授業づくりにはすでに取り組まれているようですので、孤立せずに人とつながるということを取り入れてはどうでしょうか。このような成功の経験や人とのつながりの蓄積が生徒の居場所づくりになるように思います。全く学校に関係のない大人と関わることで自分自身の未来について考えていくことができると思います。ただし、生徒を否定せずに、認める大人であることも必要です。

(3) 令和4年度「関商工高等学校スクール・ポリシー」について

承認	7人
不承認	0人

7 会議のまとめ

- ・ 第3回学校運営協議会において、令和4年度「関商工高等学校スクール・ポリシー」は全ての運営委員様から承認を得ることができた。また、今年度の学校の取り組みの報告を行い、委員の皆様から、多くの御意見・御提言を頂いた。頂いた御意見・御提言を令和4年度の学校運営の改善にいかしていく。